

筑波大学附属病院 放射線科(サブスペシャリティで治療をめざす場合)

基本コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了

基本コース(一般修学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了		

大学院コース(地域枠9年) 9年県内、4.5年以上医師不足地域

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			一人前	
勤務	医師不足地域		大学	県中	メディカル	大学	県中	ひたちなか	大学	←義務終了
大学院博士課程										

大学院コース(一般修学6年) 6年県内かつ医師不足地域(専攻医の大学1年分は医師不足地域に算入可)

卒後	1	2	3	4	5	6	7	8	
区分	臨床研修		基本領域専攻医(放射線科)			サブスペシャリティ専攻医(放射線治療)			
勤務	医師不足地域		大学	県中	ひたちなか	県中	←義務終了		
大学院博士課程									

研修病院	医師不足地域内医療機関(A病院群)	茨城県立中央病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、日立総合病院
	医師不足地域以外の研修病院(B病院群)	筑波メディカルセンター病院、土浦協同病院
	県外の研修病院(C病院群)	国がん東、がん研有明、日赤医療センター、都立駒込、国際医療福祉大学成田病院、QST病院

※実際のローテーションは、各専攻医の習熟度や各病院の指導体制により総合的に決定します

それぞれの希望に応じてキャリアデザインをお手伝いします
地域枠等の方で当科研修を希望される場合は、
ぜひ**学生のうち**からご相談ください
(臨床研修の施設・内容についても相談に乗ります)

※この表は最短期間で義務を終了する例ですので、
・臨床研修を筑波大学附属病院で行いたい
・出産・育児・介護を考えたい
という方にも相談に乗ります

●基本領域専攻医の期間、3ヶ月程度は筑波大学附属病院で放射線診断・IVR科でのローテーション研修が必要です。

◇大学院は昼夜開講型(社会人大学院)を推奨
専攻医(基本領域、サブスベともに)のどの年からでも入学可能です
研究の進行具合によって、リサーチイヤーとして半年や1年など
休職する場合は、専門医・サブスペ専門医の取得がその分遅れる場合があります